

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2010 年 5 月 4 日 17 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
<b>安城学園</b>	( 25 1st 25 35 2nd 26 24 3rd 30 12 4th 19 OT )	<b>能代工高</b>
96 ●		100 ○

主審:Referee  
藤垣 庸二 宮城県  
副審:Umpire  
小川 裕之 秋田県  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	石井 駿	CAP	0	0	0	0	1	4		熊坂 兼		-	-	-	-	0
5	×	篠塚 健		20	1	8	1	2	5	/	西島 宏哉		6	0	2	2	5
6	×	木戸 雄祐		25	5	4	2	4	6	×	笹木 皓太	CAP	24	4	4	4	2
7	/	壁谷 僚太		8	0	4	0	1	7	/	秋葉 真司		0	0	0	0	2
8	/	橋爪 大貴		8	2	0	2	0	8	×	志水 一希		26	2	10	0	2
9	/	櫻井 悠斗		0	0	0	0	0	9	/	中山 祐樹		0	0	0	0	0
10		金澤 優		-	-	-	-	0	10		熊谷 慎也		-	-	-	-	0
11	×	神谷 健斗		28	7	1	5	0	11	×	田中 浩喜		17	3	4	0	1
12		百武 遥希		-	-	-	-	0	12	×	溝坂 太成		12	0	6	0	4
13	×	木全 勇人		3	0	1	1	1	13	/	伊藤 健太		0	0	0	0	0
14	×	藤井 京夢		4	0	2	0	0	14	/	金田 海郷		0	0	0	0	0
15		原田 京典		-	-	-	-	0	15	×	中村 正也		1	0	0	1	3
16		下萩 俊希		-	-	-	-	0	16		三浦 基		-	-	-	-	0
17		遠藤 廣紀		-	-	-	-	0	17	/	野里 淳貴		0	0	0	0	0
18		山田 将也		-	-	-	-	0	18	/	土屋 真人		14	1	5	1	1
コーチ		金子 寛治							コーチ		佐藤 信長						
Aコーチ		前田 浩行							Aコーチ		安保 敏明						
合 計				96	15	20	11	9	合 計				100	10	31	8	20

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。

第1Q、能代#15中村のフリースローで先制すると、安城は#5篠塚がゴール下から入れ返す。その後、互いにシュートの入れ合いとなる。能代#11田中、#6笹木が連続得点し、8-17と引き離しにかかる。安城は#6木戸がインサイドからの攻めで、16-17と点差を詰める。一進一退の攻防が続き、25-25で第1Q終了。

第2Q、安城はディフェンスを3-2ゾーンに変えるとリバウンドから#14藤井の速攻や#11神谷のフリースローで31-27とリードし始める。さらに、#7壁谷、#6木戸が高さを生かして加点する。能代は#6笹木や#8志水の3Pシュートで点差を詰め、50-49と1点差にするが、終了間際に安城#6木戸が連続得点し、60-51と9点差で第2Q終了。

第3Q、能代はゾーンディフェンスを敷き、流れを引き寄せる。安城のシュートが落ち始めると、能代は#5西島の速攻や#6笹木の連続3Pで残り7分には60-63と逆転に成功する。ここで安城がタイムアウトを要求。安城はインサイドを中心に攻め、66-66同点とする。その後はお互いにシュートの入れ合いになり、84-81と安城3点リードで終了。

第4Q、出だし能代#18土屋のスティールからのレイアップや#8志水の速攻が決まり、84-87と能代がリードしたところで安城がタイムアウト。安城は疲れからかシュートが決まらず、苦しい展開となる。能代は速攻からレイアップを決めるなどして、88-98と10点差とする。安城は残り1分すぎに#11藤井が3Pを決めるが96-100と4点差で試合終了。

能代が最後まで走り切って安城学園を振り切った。